

# Slack から Google SpreadSheet にデータを転記するシステム の取り扱い説明書

Rj.Chiba & ChatGPT

2023 年 3 月 11 日

## 1 はじめに

本取り扱い説明書では、Slack データ自動転記システムの利用方法について説明します。本システムは、Slack 上のチャンネル上で発言されたデータを GoogleSpreadSheet 上に自動で転記することができます。本書を読み、正しくシステムを利用することで、チームの生産性向上に役立てていただけます。

## 2 機能概要

本システムは以下の機能を有します。

- Slack API を使用してチャンネル上の発言を取得
- Google Apps Script を使用して取得した発言を Google SpreadSheet に転記
- 取得したデータは、チャンネルごとに SpreadSheet 上に保管される
- 特定の channel を保存対象から外すことが可能
- 一定期間ごとに自動でスクリプトが実行され、Slack のデータが 90 日で削除されても、データが Google SpreadSheet 上に保存される

## 3 手順

本システムを使用するためには以下の手順を実行してください。

### 3.1 Slack App の設定

1. Slack App の管理者権限を持っているユーザーでログインし、「**Slack API : Application**」を開く。
2. 「Create New App」をクリックする。
3. アプリの名前を入力し、「Create App」をクリックする。
4. 「Add features and functionality」のメニューから「Bots」をクリックする。
5. 「Add a Bot User」をクリックし、Bot の名前を入力する。
6. 「OAuth & Permissions」のメニューから、以下のスコープを追加する。
  - channels:history

- channels:read
- groups:history
- groups:read
- im:history
- im:read
- mpim:history
- mpim:read

7. 「Install App」をクリックし、許可を与える。
8. 「OAuth & Permissions」の「Bot User OAuth Access Token」をメモする。

### 3.2 スプレッドシートの設定

1. Google Drive のページを開き、新規スプレッドシートを作成する。
2. 「拡張機能」→「スクリプトエディタ」をクリックする。
3. 作成されたスクリプトエディタで、以下のコードをコピー&ペーストする。
4. `const TOKEN = 'YOUR_SLACK_API_TOKEN';` に「Bot User OAuth Access Token」を設定する。
5. `const timeZone` にタイムゾーンを設定する（日本国であれば「Asia/Tokyo」）。
6. スプレッドシートに戻り、「setups」という名前のシートを作成する。
7. 「setups」の「A1」から「A9」まで、次の項目を入力する。

表1 「setups」に記載する内容

セル	内容
A1	前回実行日時
A2	次回実行日時
A3	実行インターバル (日)
A4	保存対象外のチャンネル (1)
A5	保存対象外のチャンネル (2)
A6	保存対象外のチャンネル (3)
A7	保存対象外のチャンネル (4)
A8	保存対象外のチャンネル (5)
A9	保存対象外のチャンネル (6)

8. 「setups」の「B4」から「B9」まで、保存対象外のチャンネル ID を入力する。

### 3.3 システムの立ち上げ

1. 再度スクリプトエディタを開く。
2. メニューバーから関数 `main` を選択し、「実行」をクリックする。
3. 「このアプリは Google で確認されていません」というポップアップが表示されるので、「詳細」→「slackMsgSaver に移動」をクリック。
4. 「許可」をクリックし、プロジェクトに権限を与える。